

必聴！ベテラン道産子ガイドに聞く 北海道インバウンド・ツアーのポイント

～創業 139 年の神谷バーのランチ交流会付き～

2019 年 3 月 8 日（金）実施 JGA 第一支部実施研修報告



JGA の強みは、第一から第五支部つまり日本全国に会員がいらっしやり、お互いに情報を交換し、助け合えることです。今回は、第 5 支部北海道のベテラン・ガイドである苫小牧市出身在住の本間敏彦氏（常務理事）を講師に迎え、北海道のインバウンドの基本と最近の傾向についてお話をうかがいました。参加者は 43 名（会員 39 名、非会員 2 名、担当委員 2 名）、奈良県、愛知県など地方からも多くのご参加がありました。

2019 年 3 月 8 日（金）9:30～ 会場は浅草の台東区民会館 8 階第 4 会議室。冒頭、やはりご実家が北海道である木脇副会長からのご挨拶で始まりました。講演では、本間常務から、北海道の地図や手作りの資料を使い、北海道の基礎知識、北海道ならではのインバウンド・ツアー事情、そしてガイドが気を付ける点等についてお話下さいました。更に、近年急増しているクルーズを鑑み、主なクルーズの寄港地コース等についても臨場感あふれるお話を下さいました（函館港～函館、釧路港～釧路、小樽港～小樽、室蘭港～室蘭周辺、網走港～網走）。

後半は、北海道ならではの写真を数々紹介下さいました。例えば矢羽根（積雪時に埋もれてしまう道路の端を示す印）、防雪柵、半透水性舗道、道路に温度計、ロードヒーティング等冬場の交通安全を守るための設備や、インバウンド・ツアーの際、車窓の説明時に必ず質問されると思われるサイロ・サイレージ、セイタカアワダチソウ、長芋畑、ふのり養殖場、無落雪住宅、灯油タンク等です。



写真だけでなく、膨大な各種資料を参加者のために用意して下さいました。また現在閉館中の白老のアイヌ民族博物館は 2020 年 4 月に国立施設として再開予定等トレンドな情報も下さり、質疑応答後 11:45 頃終了しました。

講演の後、12:15 から、創業 139 年の老舗「神谷バー」2 階「レストラン神谷」に会場を移しランチ交流会が開催され、36 名（会員 32 名、非会員 1 名、委員 2 名+講師）が楽しく交流、あっという間に本日のイベントがおひらきとなりました。東京にいながら遠く離れた北海道のことをガイド目線で学ぶことができる非常に貴重な機会でした。

講師：本間敏彦氏（JGA 常務理事、第五支部理事）

平成 5 年 12 月ガイド試験合格、JGA 入会。

平成 13 年 7 月室蘭港でクルーズガイド初仕事。

平成 17 年まで建設会社経営。現在 NPO 法人

北海道通訳案内士協会理事長。

